

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成26年9月24日

施設名	香北青少年の家	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

1. 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさと公社
指定期間	平成24年4月1日～27年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成25年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集まれ!!未来の麺職人 ・子どもフェスティバル いきいき合衆国で遊ぼう! ・日帰りだよ!親子忍者大会体験 ・子どもフェスティバル忍者大会 ・青年リーダー研修 など
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員121名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km
職員体制	職員:所長1名 所長代理1名 事務員1名 指導員4名 調理員4名 合計:11名

2. 収支の状況

		H24年度(決算)	H25年度(決算)	H26年度(予算)
収入	県支出金	35,922,000	35,923,000	36,969,000
	事業費収入	1,026,482	956,906	1,178,000
	収入計(a)	36,948,482	36,879,906	38,147,000
支出	事業費	1,447,931	1,484,508	1,665,000
	管理運営費	9,561,814	11,239,674	8,031,000
	人件費	24,179,307	22,399,561	25,625,000
	消費税	1,759,430	1,756,163	2,826,000
	支出計(b)	36,948,482	36,879,906	38,147,000
使用料収入		2,232,660	2,104,240	2,169,000

3. 利用実績

(1) 宿泊者数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均
宿泊者数	7,352	6,913	6,382	7,252	6,869	6,954

(2) 利用団体数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均
団体数	193	169	136	154	160	162

(3) 利用者数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均
人数	15,998	15,671	14,119	16,194	15,027	15,402

4. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宿泊学習に忍者大会を取り入れ、塾や習い事で参加できない子供達にも忍者大会を体験できるようにした。 ○高知新聞伝言板や高知新聞発行のコミュニケーションペーパーに主催事業である「忍者大会」について掲載してもらうなど、積極的に施設のPRを行っている。 ○忍者大会に続く柱の事業として、「麺職人」事業の定着を目指して取り組んでいる。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○忍者大会の内容を毎年見直し、毎年参加しても楽しめるよう取り組んでいる。 ○宿泊学習の際に利用者が「何を目的とし」「何を求めているのか」を把握し、綿密な打ち合わせを行い、目標を達成できるよう取り組んでいる。 ○災害時の備蓄品を宿泊者(100×2)と職員分を準備をした。 ○休館日(月曜日)の利用希望があった場合は、開館し利用者のニーズに答えた。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セルフモニタリングシートを活用し、自己点検を行い業務改善に取り組んでいる。 ○アレルギー事故防止のため、利用団体にアレルギー確認表を提出してもらい、事前に打合せを行い、提供メニューを送付して了承してもらい食事を提供するようにしている。 ○職員個々の特性を尊重し、お互いにモチベーションを上げながら風通しのよい職場づくりに取り組んでいる。
④利用実績	○平成24年度と比較して、宿泊者数は383名の減少、利用団体数は6団体増加となっている。利用者数は、1,167名減少した。
⑤収支の状況	○宿泊者数、利用者数とも減少したことにより、平成24年度と比較して、使用料収入は128千円の減収となった。 管理代行料は、予算額を全額執行した。 平成25年度決算額 35,923,000円
総合評価	<p>○施設の目標がしっかりと認識されており、施設の強みを活かした効果的な事業展開を行い、定着させている。</p> <p>○施設の整備から職員の対応まで、あらゆる面できめ細かい気配りがされており、円滑な管理運営ができています。</p> <p>○様々な方法によるニーズの把握や施設職員、ボランティアスタッフへの研修を充実させるなど、サービスの更なる向上に向けた取り組みを進めている。</p> <p>○「忍者大会」は香北青少年の家の事業として浸透しているが、今後、施設の強みを活かし地域や大学、専門機関と連携し防災プログラムなど地域や教育にとって効果的なプログラムの開発により主催事業の見直しができることを期待する。</p> <p>○職員全員で各種行事に取り組んでいる。今後は大学生ボランティアや地域の人たちの協力も得ながら事業を運営していくことを検討し、今後の施設のあり方を考える余裕を確保していくことを期待する。</p>

A

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの